

『これからの5年を考える』

沖水地区社会福祉協議会 会長 藤井 光英

沖水地区は地理的にも恵まれているので、5年後も発展すると思います。しかし、少子高齢化の影響で廃屋が増え、一部地区がゴーストタウンになるかもしれません。魅力ある地域活性化や若い人が住む明るい沖水地区づくりを目指していきたいです。

沖水地区社協 これからも続けていきたい活動

在宅介護者のつどい

在宅で介護している家族を対象に、少しでも日頃の介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ方々と交流することで今後の介護の励みにしていただくことを目的に実施しています。今後も開催回数や周知方法を再検討し実施する予定です。



福祉標語の表彰

毎年、沖水小学校（5・6年）沖水中学校（2・3年）の生徒に福祉標語を考えていただき、優秀作品をポスター掲示します。地域の公共施設等へ掲示することにより、福祉への関心が高まり、小学生や中学生が福祉について考える機会場となっています。



子育てサロン（子育てハッピーサロンおきみず）

沖水地区の民生委員を中心に未就学児のいる親と子どもさん、妊婦さんを対象に地域での交流や情報交換会を目的に実施しています。また、地域イベントの情報提供やママパパ同士の交流ができるプログラムづくりを心がけ、みんなで楽しく、居心地の良い場所づくりを心がけています。



沖水のくらしまるごと相談

多様化している相談内容を“まるごと、受け止める場として子育て、障がい、老後の不安や困りごとに関する相談を沖水地区社会福祉協議会や沖水地区の施設等、沖水地区担当と連携して開設しております。（年6回程）



沖水地区スローガン

相手の気持ちを一番に
協力し 笑顔ひろがる 沖水地区

【基礎情報】(R2.5.1)

人口規模 (住基人口)	全 体	14,635 人	世帯数	6,982 世帯
	男 性	7,037 人	自治公民館加入世帯	3,618 世帯
	女 性	7,598 人	自治公民館加入率	51.8%

【沖水地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

- 地区によっては店が遠くにあり、買い物に行くのが困難な方がいる
- 免許証返納のメリットがない
- 高齢者の方でゴミを出せない方がいる
- 12公民館で年1回、自主防災を実施している
- 高齢者等は避難する際、自分では行けない
- 自宅から避難所までが遠い
- 葬式が家、葬式場、家族葬へと変化し、地域の情報が入らなくなった
- 行事等がなく子どもの情報が入らない
- 以前は学校から主任児童委員に対して情報提供があったが、今はなくなった
- 子どもの貧困問題は見た目では分からない
- 民生委員や公民館長、生活援助員のなり手がいない
- アパートが増えて人との交流が少なくなった
- 自治公民館や育成会の未加入者が増加した
- 地区社協や公民館の行事を知らない方が増加
- アパートや家等の建物が増えている地区もあれば、空き地が増えている地区もある
- 空き地は子どもたちのたまり場（秘密基地）になる
- コロナで季節の行事や活動が中止になったことで役員の顔がわからない
- 引きこもりの対応について相談する場がない

沖水地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

相手の気持ちを一番に 協力し 笑顔ひろがる 沖水地区

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域 (自治公民館単位) での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1-①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・世代間交流活動 継続)・在宅介護者のつどい 継続)・男性料理教室 継続)・小学校参観日の預かり保育 新規)・モデル事業 (市健康課) を活用した地域活動 (サロン等)
	1-②子育てサロン (子育てハッピーおきみずサロン) を充実させていきます	継続)・チラシ等での周知 継続)・民生委員との連携 新規)・母子保健推進員との連携 新規)・視察研修
2 多世代のボランティア育成のため事業を充実していきます (人づくり・つながりづくり)	2-①人材確保と育成を行ないます	継続)・生活援助員のつどい 新規)・生活援助員の募集 新規)・生活援助員養成講座
	2-②各地区の自主防災組織を活用し、若い世代が参加できる活動の推進をします	継続)・モデル地区 (吉尾地区) での防災訓練 新規)・各地区公民館との連携、活動促進 新規)・モデル地区での防災訓練に各地区公民館長へ参加促進
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3-①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	継続)・沖水地区地域・福祉施設意見交換会
	3-②様々な福祉課題を協議できる場をつくります	新規)・ケース検討会の実施
4 地域住民の困りごとに対応できる組織体制づくりを目指します (しくみ・体制づくり)	4-①地域住民の悩みをまるごと受け止める場を提供します	継続)・沖水のくらしまるごと相談
	4-②広報 PR 活動を強化します	継続)・広報紙の発行 継続)・福祉標語の表彰 新規)・沖水地区社協便りや官報に地区社協の記事掲載 新規)・LINE やインスタ等を活用